

平成29年度下水道事業の経営方針及び予算の概要

1 事業の経営方針

人口の減少等により使用料収入が年々減少する一方、今後、耐用年数を迎える施設が急激に増加することにより、施設の改築更新・維持管理に多額の費用がかかることが見込まれます。こうした環境下においても、住民生活に必要不可欠である下水道事業は、将来にわたり、安定してサービスを提供していくことが求められています。

そのため、経営状況や資産の状況を正確に把握し、効率的で適切な施設の改築更新・維持管理を進められるよう平成29年度から地方公営企業法を適用しました。今後も、市民が安心して快適な生活を営めるよう、良好な生活環境の維持と公共用水域の水質保全のため、より一層の経営の健全化に努めます。

2 予算の概要

(1) 収益的収支の状況

収益的収支とは、当該年度の企業の経営活動に伴い発生すると予定されるすべての収益とそれに対応する費用です。

単位：千円

収入				支出			
	平成29年度	平成28年度	増減額		平成29年度	平成28年度	増減額
営業収益	2,573,645	-	-	営業費用	3,086,606	-	-
下水道使用料	2,350,829	-	-	管渠費	505,233	-	-
雨水処理負担金	220,777	-	-	ポンプ場費	16,954	-	-
その他の営業収益	2,039	-	-	業務費	203,025	-	-
営業外収益	1,039,285	-	-	総係費	158,678	-	-
受取利息及び配当金	631	-	-	流域下水道管理費	722,810	-	-
他会計補助金	11,431	-	-	減価償却費	1,479,905	-	-
長期前受金戻入	1,019,097	-	-	その他の営業費用	1	-	-
雑収益	8,126	-	-	営業外費用	97,406	-	-
		-	-	支払利息	32,183	-	-
		-	-	消費税及び地方消費税	65,223	-	-
		-	-	特別損失	8,513	-	-
		-	-	その他特別損失	8,513	-	-
		-	-	予備費	50,000	-	-
		-	-	予備費	50,000	-	-
合計	3,612,930	-	-	合計	3,242,525	-	-

※収入が支出を上回る場合は、決算時において、生じた利益を条例により建設改良積立金等に積み立てるほか、積み立て処理をしないものは、次年度に利益を繰り越します。

(2) 資本的収支の状況

資本的収支とは、住民に対するサービスの提供を維持するためなどに要する諸施設の整備、拡充等の建設改良費や企業債収入等の予定を示しています。

単位：千円

収入				支出			
	平成29年度	平成28年度	増減額		平成29年度	平成28年度	増減額
他会計補助金	10,665	-	-	建設改良費	213,332	-	-
他会計補助金	10,665	-	-	事務費	28,272	-	-
		-	-	管渠建設改良費	14,420	-	-
		-	-	流域下水道費	140,640	-	-
		-	-	企業債償還金	164,543	-	-
		-	-	企業債償還金	164,543	-	-
合計	10,665	-	-	合計	377,875	-	-

※収入額が資本的支出額に対して不足する3億6,721万円については、当年度分損益勘定留保資金（収益的収支のうち、現金支出を要しない減価償却費等から現金収入を伴わない長期前受金戻入等を差し引いた額）にて全額補填します。